

Hop!!!

野間中学校 第1学年
学年通信 第16号
平成29年7月14日発行

鳴海風さん座談会

10日(月)の2時間目に、小説家の鳴海 風さんとの座談会が開かれました。現在美浜緑苑にお住まいだそうです。略歴は以下の通りです。

鳴海 風(小説家)

新潟県加茂市生まれ。

秋田高校から東北大学へ進み、機械工学専攻修了。学生時代より小説家を志す。

1980年、日本電装(現デンソー)入社。1987年より新鷹会の勉強会に参加し、作家としてのキャリアを積む。

平山諦著『和算の歴史』に出会ったことがきっかけで、和算を題材とした作品を手掛けるようになり、1992年に、和算家建部賢弘が主人公の短編『円周率を計算した男』で歴史文学賞を受賞。2013年、デンソーを定年退社

著作

円周率の謎を追う(2019年度 課題図書)

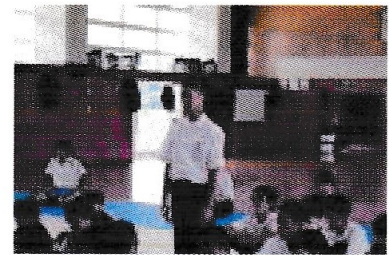
星に惹かれた男たち(2014)

江戸の天才数学者 世界を驚かせた和算家たち(2012)



【鳴海先生(左側)】

始めに、「どうして関孝和さんの小説を書こうと思ったのですか」、「小説家を目指したのはなぜですか」など、素朴な疑問がたくさん出されました。先生は、ご自分の少年時代からの思い出を織り交ぜながら、なぜ江戸時代のことや和算に興味を持ったのかとか、小説家を目指したのはなぜかなど、ユーモアを交えて、気さくに話をしてくれました。少年時代には、実は本にあまり興味がなかったという意外なおっしゃっていました。また、江戸時代の和算の教科書ももってきて下さり、当時の印刷のことなどについても熱心に話されました。生徒は、初めて見る本に興味津々といった感じで眺めていました。

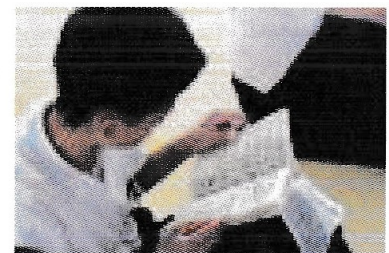


【質問する野田くん】



地元こんな方が住んでいらっしゃるとは、自分も知りませんでした。松尾先生は数学が専門なので、関孝和の名前はよく耳にしていたし、和算の本も読んだことがあります。関孝和の意外な一面を知ることができて、とても興味深かったです。

これから夏休みになります。今回紹介された本も読んでほしいですが、いろいろな本を読んで、自分の世界を広げてほしいと思います。



【昔の教科書って…】